

1月27日(水曜日)

◆とき: 16:00~20:00

Ⅰ部、16:00~18:00

Ⅱ部、18:30~20:00

於: 関西電力本店前

(大阪市北区中之島
3丁目6番16号)

◆主催◆

「高浜原発再稼働を
許さない!
関電包囲全国行動」

実行委員会

◆呼びかけ◆

原子力発電に
反対する

福井県民会議

◇連絡先◇

宮下正一

(原子力発電に
反対する

福井県民会議)

TEL0776-21-
5321 (代表)

木原壮林

(若狭の原発
を考える会)

TEL090-1965-
7102

1.27 高浜原発再稼働を許さない! 関電包囲全国行動

■原発再稼働に反対する 全ての皆さんに訴える!

福島原発震災の5年後のいまま、18万人をこえる被害者たちは、被ばくの不安におびえ、暮らしや故郷を奪われたままです。にもかかわらず、原子カムラや原子力行政は、「フクシマ」などなかったかのように再稼働へ向けてひたすら暴走しています。唯一、司法の良心を発揮した福井地裁・樋口裁判長の判決や決定までも、同地裁の他の裁判官によって覆されました。しかし、再稼働反対の国民世論は現在も過半数をしめています。

わたしたちはもはや、国策民営の原発推進側が一方向的に設定した「立地地元」のみに再稼働合意を認める枠組み自体を、けっして容認するわけにはいきません。

高浜原発をはじめ11基の関西電力の原発は、若狭から関西2府4県の広域圏へ、その使用電力の55パーセント(最大)も送電してきました。関電のその広報が事実なら、フクシマ後の原発抜きで支障なしの電力供給をどう説明するのでしょうか。

15万人の狭小な若狭(立地・周辺地元)と1400万人の関西広域圏(消費地元)も電力需給関係こそ、「原発必要神話」の根本的な枠組みではなかったでしょうか。フクシマの過酷な犠牲の後もお、この関係・枠組みを不問に付したまま、再稼働を認められるのでしょうか。再稼働をこのまま許せば、立地(若狭・福井県)・消費地元(琵琶湖を擁する関西広域圏)もろともに、「被害地元」と化することはまぬがれません。

電力自由化へ向けて放漫な関電から離脱する取り組みも含め、原発依存から抜け出すために、これまで地道に、多彩にとりくんできた大中小の団体・グループや草の根の住民・市民が協働し、高浜原発現地での全国集会(1月24日)に引き続き、関電を包囲する「再稼働を許さない」共同行動に結集しようではありませんか!

◇実行委員会

構成団体

・個人

(50音順)

<団体>

アジェンダ・プロジェクト

科学者会議・福井支部

関西共同行動

京都反原発めだかの学校

グリーンアクション

グリーンピース・ジャパン

原子力発電に反対する福井県民会議

原水爆禁止日本国民会議

原発設置反対小浜市民の会

原発ゼロ上牧行動

原発なしで暮らしたい丹波の会

原発問題住民運動福井県連絡会

再稼働阻止全国ネットワーク

人権平和高槻市民交流会アスネット

STOP原子力★関電包囲行動

ストップ・ザ・もんじゅ

たんぼほ舎

使い捨て時代を考える会

<団体>

反原発新聞京都支局

反戦・反貧困・反差別共同行動in京都

福井から原発を止める裁判の会・事務局

ふるさとを守る高浜・おおいの会

平和フォーラム関西ブロック

美浜・大阪・高浜原発に反対する大阪の会

リレーデモ京都

若狭の原発を考える会

<個人>

牛田等・村上幸治

安部栄子(「子ども脱被ばく裁判」を支える会・東日本)

(1月13日、現在)